

4・28サンフランシスコ講和条約
日米安保条約 発効60年

沖縄と結び、 日米安保と 日本の進路を 考えるつどい

来る4月28日は、サンフランシスコ講和条約・日米安保条約が発効して60年目の日です。これにより日本はアメリカとの軍事同盟に組み込まれ、沖縄は引き続き全面占領下におかれました。沖縄県民は1972年5月15日に祖国復帰を勝ちとりますが、40年たった今も沖縄には広大な米軍基地が居座り、県民の苦しみは続いています。しかし今、「世界一危険」な普天間基地の撤去を求める県民のたたかいが、大きく盛り上がっています。

先の知事選挙や宜野湾市長選挙で大健闘した元宜野湾市長・伊波洋一さんとともに、普天間基地の無条件撤去、基地のない平和な沖縄、軍事同盟を解消し憲法の輝く日本を実現するためにどうしたらいいのか、ともに考えます。

また1959年東京地裁の「米軍基地は憲法9条違反」判決を勝ちとった砂川上告審弁護団事務局長を務めた内藤功さん(日本平和委員会代表理事)が、沖縄と首都圏の米軍基地撤去が日本とアジア、世界を変える歴史的意義を熱く語ります。お二人の対談も予定しています。

参加費：500円

主催：日本平和委員会、東京・神奈川・千葉・埼玉各平和委員会
協賛：安保破棄中央実行委員会、基地のない平和な沖縄をめざす会
(連絡先) 日本平和委員会 Tel 03-3451-6377 <http://j-peace.org/>

元宜野湾市長

伊波 洋一 さん



特別報告：内藤 功さん

"米軍基地は憲法違反"——砂川裁判・伊達判決を勝ちとった弁護士が語る
「沖縄と首都圏の米軍基地撤去が世界を変える」

日時：4月28日(土) 午後2時～5時

会場：明治大学リバティータワー
3階1031教室 東京都千代田区
神田駿河台1-1

